

旭鋼管工業株式会社 野木工場

所在地 野木町佐川野 969 従業員数 70名(野木工場)

事業所 本社・草加工場(埼玉県・草加市)、野木工場 他

主な事業内容 冷間仕上機械構造用鋼管の製造販売

弊社は創業以来、冷間仕上機械構造用鋼管の製造販売を専業として、高級化・品種拡大等を次々と実現し、お客様のVA・新商品開発のお手伝いをさせていただいて参りました。

今以上にお客様の信頼を得るべくISO9001認証の取得等、品質保証の万全の体制を構築しました。

更に21世紀に入り、産業のグローバル化の進展をふまえ、日系自動車部品メーカーへの安定供給を目的とした中国工場の新設や、加工部品までの一貫製造体制の拡充を図るとともに蓄積された技術に最新のテクノロジーを駆使し、「高品質」「廉価」「短納期」化をすすめております。



←弊社取扱商品

《社員のひとこと》

経営理念であります「技術と挑戦と信頼」を基に、お客様の発展と社会の繁栄への貢献に全社一丸となって尽力しております。  
(野木工場 副部長 穂積 弘恭)

広報連絡委員レポートNo.366

自衛消防団の再編

広報連絡委員

鈴木 克幸



大震災、竜巻、風水害と大きな災害が頻発しています。昨今は、ここだけは大丈夫と思われような地域においても、突然の災害に見舞われますので、日頃の防災対策が急務になっていきます。

私の住む中谷地区でも自衛消防団が組織され、長年消防活動に従事してきましたが、農業が主の中谷地区においても御多間にもれず少子高齢化が進み、団員となる対象者が減少、仕方なく、名前だけでもとの団員勧誘により名簿に登録はされるものの、もとより団員としての自覚、責任感もなく、数年前からは運営委員会や歓迎会を開催しても誰一人出席する人がいなくなっていました、自衛消防団としての組織が壊滅状態となってしまうのです。なぜ、どうしてと、組織の内容を見直してみると、驚くべきことに、団員22名のうち約半数の10名が中谷地区に居住していなかったのです、当然連絡網も全く途絶えてしまっていたのです。これではどうにもならない、なんとか組織を復活させようと4年前に検討委員会を組織し対策を進めることとなりました。

今後を考えると火災ばかりではなく、地震、台風、竜巻等広範囲な対策が必要となるこの考えから、遅れ馳せながら自

衛消防、防災会としての組織の再編を決定。今までのように若い人達による編成での活動は難しいとの判断から、まだまだ元気で、地域の現状をよく知り、比較的時間も自由になる、60歳の定年を迎えた人達で編成してはとの提案に賛同が集まり、満60歳に達したら自動的に編入され、満70歳に達したら自動的に退団することとし、町内各地区の防災会の規約類等の資料を参考にさせていただき、1年がかりで規約の改正を行い対象者38名により昨年の4月1日付で再発足をいたしました。

早速、機具置場の清掃から始め、消防ポンプの点検をしたところ長年放置してあったためエンジンがかかりません。困り果てて、機械に詳しい人の助けを借り、数日ばかりで整備をしたところなんとか順調に作動するようになり、8月からは毎月第一日曜日に備品類の確認、ポンプの点検放水等を行って、非常時に備えてあります、また昨年は防災の観点からも防災講演会、救急救命講習会を実施するまでに至りました。

災害はいつ、どこで、どんなことが発生するかわかりませんが、今後とも独居老人対策等も含めて更に組織の充実を図るべく、研修、訓練を重ねていこうと、全員が心をひとつに歩み始めています。

